

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	675
部 名	生涯学習部	課 名	視聴覚ライブラリー	課長名	小林 清志	
事務事業名	教員教材購入費					
予算上の事務事業名	教員教材購入費					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15120			
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 生涯学習活動の支援				昭和63年以前 ▼	
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
相模原市視聴覚ライブラリー条例						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
視聴覚教材・機材を収集保管し、その利用を図り、市内の教育機関及び社会教育団体等の支援を目的とする。				・市内の教育機関及び市内で活動する社会教育団体 ・市内在住・在勤・在学の者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
貸出用16ミリ教材……………18本 貸出用ビデオ教材……………60本 寄贈ビデオ……………5本 貸出用DVD教材……………16本 寄贈DVD……………7本 液晶ビデオプロジェクター……………3台 VHS・DVDダブルデッキ……………1台 DVDレコーダー……………1台 16ミリ映写機用コンバージョンレンズ……………2本						
6 関連・類似事業や他市の状況						
他自治体の視聴覚ライブラリーと比較した場合、相模原市の視聴覚ライブラリーは、特に16ミリフィルムの分野において充実している。新しく16ミリフィルムを購入できない状況のところもある。						
7 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	9,831	7,342	5,848	5,959	5,959	
一般財源	9,831	7,342	5,848	5,959	5,959	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源						
人件費の合計	620	670	670	670	670	
事業コスト合計(a)	10,451	8,012	6,518	6,629	6,629	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	教員・教材購入費			対象名称(単位)	16ミリフィルム・ビデオ 視聴者数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	10,451	8,012	6,518	6,629	6,629	
対象数	180,361	177,511	156,363	160,000	160,000	
単位あたり経費(円)	58	45	42	41	41	
前年度比		0.78	0.92	0.99	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	教材・機材貸出利用件数		指標式と指標の説明	教材・機材貸出利用件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	5,012.0	4,525.0	4,455.0		
目標	6,000.0	6,000.0	5,500.0	5,500.0	5,500.0
目標達成度	0.84	0.75	0.81		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	16ミリフィルム・ビデオ視聴人数		指標式と指標の説明	16ミリフィルム・ビデオ視聴者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	180361.0	177511.0	156596.0		
目標	189900.0	180400.0	178000.0	160000.0	160000.0
目標達成度	95.0	98.4	88.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		教材については、あらゆる分野からの資料の収集をし、質の高い作品を提供をできるよう図る。 機材については、時代のニーズに対応できるものを整備し、見直しを重ねていくことにより、一層の効果を向上させたい。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
・教材においては、デジタル教材を重視し、より望まれる質の高い作品を収集していかなければならない。 ・機材においては、16ミリ映写機のオーバーホールとプロジェクターを増備していく。			視聴覚ライブラリーは昭和49年に設置された設備のため、最新の視聴覚教育に取り組む施設としては施設の改善が望まれる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		計画的な教材整備に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			